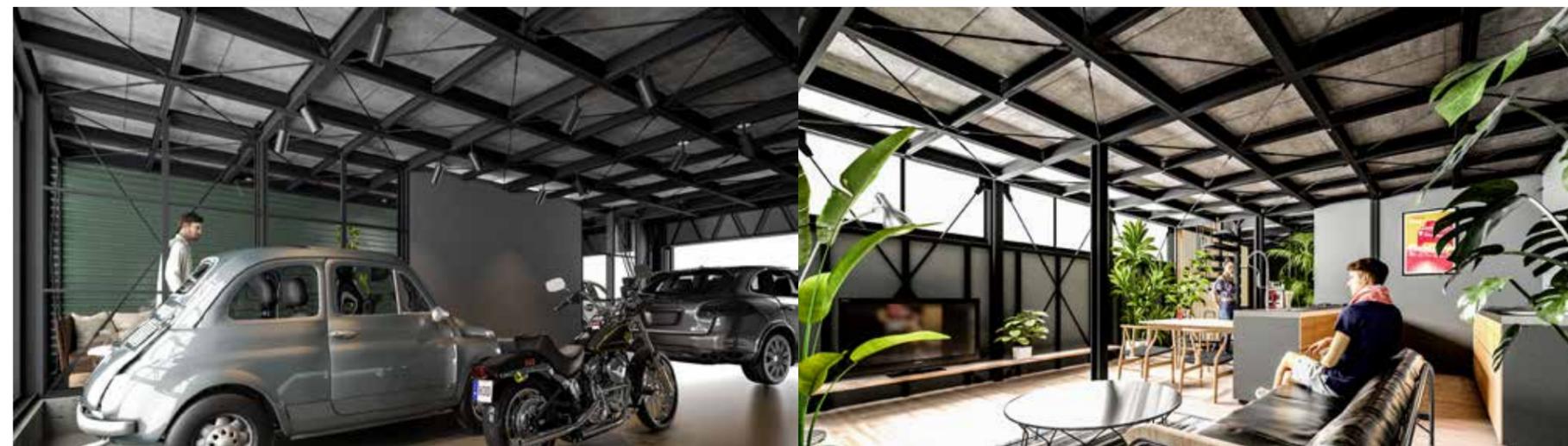


1Fにはガレージに面して趣味の部屋を設置して、「出撃基地」としてのコンセプトを際立たせています。2Fは明るいLDKと洗濯が楽しくなるインナーバルコニーを設定しています。3Fのプライベートルームを経て、なんと屋上利用も可能。日常生活とアウトドアライフのバランスに配慮したプラン。



賃貸住宅でこの格納スペースは必要にして十分。隣家との間のプライベートな庭に面して、FIX開口も設定して、非常に開放的なガレージになっています。クルマ、バイク、アウトドアギア類の比率は自由自在。天井に吊るす収納も含め、思う存分自分の世界が演出できるのです。

GARAGE

広々と開放的な2Fのリビングスペース。余分な仕切りを設けず、開放的な空間と鉄骨の素材感を基調にした空間になっています。 Daytona House オリジナルの螺旋階段が上下の空間をつなぐ吹き抜け感を作り出し、生活の一体感やリズムを作り出してくれています。

LIVING

Monthly Theme

持ち家ならずとも、必要にして十分！
遂に誕生する戸建て賃貸住宅

クルマ遊びやアウトドアライフを人生の重要な要素として捉えている人に朗報です。遂にDaytona House仕様の戸建て賃貸住宅が東京都板橋区に誕生予定です。既存賃貸の概念を越える、その満足度とポテンシャルの高さを実感してください。

「一國一城の主」という戦国時代の話まで持ち出して、戦後日本は政策的に持ち家を推奨し続けてきました。サラリーマンになって、その勤続年数を担保に30年以上の借金をして家を持つことが、あたかも、「一人前の通過儀礼のように言われていました。しかもその間、固定資産税という国に課せられたコストも払い続けるといって、よく考えてみれば割に合わないシステム。それが当たり前になつてきたのがこれまでの日本です。しかし、その持ち家神話が、社会の変化とともに相対化されています。

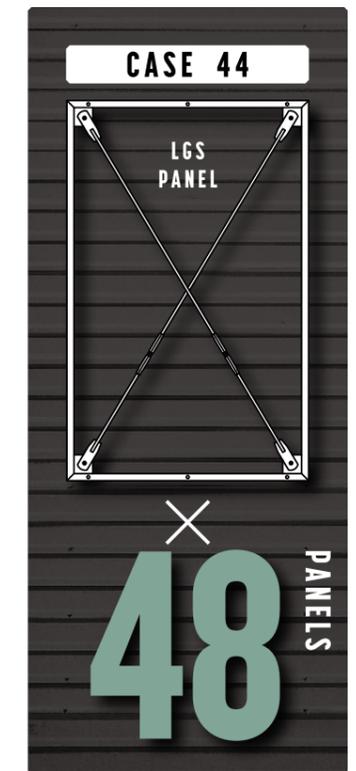
その典型例が、戸建て賃貸住宅の静かなブームです。今回は実際に東京都板橋区設計中のDaytona House仕様の戸建て賃貸住宅と、その豊かな空間をご紹介します。

この賃貸住宅は、Daytona Houseの軽重量鉄骨造で構造計算された3F建ての住居です。その最大の特徴は1F部分にクルマ2台+バイクが駐車可能なガレージが完備されていることで、艶消し黒の鉄骨素材感全開で、十分なスペースを確保しています。アウトドアライフのギア類の格納にも最適、しかもディスプレイに

趣向を凝らして自分だけの世界感を演出できるのです。もちろんオーナー(大家さん)は存在しますが、むしろ大家さんは、長年愛着を持って住んでくれる人を望んでいます。つまり、オーナーが居住者のライフスタイルへの関心と共感を持っていることによって、この豊かな戸建て賃貸が生まれるのです。

このような特徴的な賃貸住宅の情報を、求めているユーザーのところへストレートに発信できるのも時代の変化、すなわちSNSの時代だから可能となるのです。

Daytonaが提案する
新しい建築のかたち



What's DAYTONA HOUSE ?

Daytona Houseを構成するのは、LGSと呼ばれる軽重量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、Daytona HouseはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGS パネルを使った建物全てがDaytona Houseと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分りやすさと、パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

www.daytona-house.com

LDKinc.

代表: 玉田 敦士
www.ldk.co.jp
03-6228-4933

Daytonaをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。